

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨床実習前演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	前田 直人	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
臨床実習に必要な知識を再確認し、臨床実習に事前学習ができるようになる。医療機器の実習・演習を通じ医療機器の基本的な操作ができるようになる。現場の臨床実習経験者の講義を通じて、臨床実習の心構えと意義が理解できるようになる。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題 および 小テスト						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:丸善出版株式会社 臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本 参考図書:株式会社 南江堂 MEの基礎知識と安全管理、金原出版株式会社 臨床工学技士標準テキスト(第4版) 必要なプリントを適時配布						
《授業外における学習方法》						
指定された教科書や配布プリントを事前に確認						
《履修に当たっての留意点》						
白衣および絶縁性を確保するためにゴム底などの靴を準備すること。授業後の復習を行うこと。臨床実習に必要な臨床技術に加え、態度や姿勢、および接遇について学び、実践できるようになること。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系に関する基本的な理論と実践的な技術を習得する。		臨床工学技士標準テキスト プリント	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	呼吸治療業務(1)			
第2回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	呼吸治療における高度な技術や状況に対する対応方法を学ぶ。		臨床工学技士標準テキスト プリント	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	呼吸治療業務(2)			
第3回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	人工心肺装置の基本的な構造や操作方法、患者への適切なケアについて学習する。		臨床工学技士標準テキスト プリント	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	人工心肺業務(1)			
第4回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	人工心肺装置を用いた異常事態や緊急時の対応策を習得する。		臨床工学技士標準テキスト プリント	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	人工心肺業務(2)			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	血液浄化装置の原理や機能、安全性に関する知識を深める。		臨床工学技士標準テキスト プリント	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	血液浄化業務(1)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	血液浄化における実際の手順や問題解決能力を向上させる演習を行う。	臨床工学技士標準テキスト プリント	メガーに関するプリントを熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	血液浄化業務(2)		
第7回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習における基本的な要領や規定について学ぶ。	臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	臨床実習要領		
第8回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士としての倫理や責任、安全に関する事項などについて学習する。	臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	CE業務全般にわたる留意事項		
第9回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	実習指導者の講義を通じて、臨床実習での姿勢、学ぶべきこと、心構えを理解する。	臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本	使用教材にある教科書の章を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	実習施設指導者代表の願い		
第10回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	職能団体の講義を通じて、臨床実習での姿勢、学ぶべきこと、心構えを理解する。	臨床工学技士のための臨床実習が楽しくなる本	プリントを事前に熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	職能団体代表の願い		
第11回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習先の施設紹介を実施し、プレゼンテーション力を養う。	大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌、PCプロジェクターなど	使用教材にある教科書の関連内容を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	臨床実習－施設報告会(1)		
第12回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習先の施設紹介を実施し、プレゼンテーション力を養う。	大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌、PCプロジェクターなど	使用教材にある教科書の関連内容を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	臨床実習－施設報告会(2)		
第13回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習で経験した症例を報告通じ、発表の形態を理解し、プレゼンテーション力を養う。	大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌、PCプロジェクターなど	使用教材にある教科書の関連内容を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	臨床実習－症例報告会(1)		
第14回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習で経験した症例を報告通じ、発表の形態を理解し、プレゼンテーション力を養う。	大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌、PCプロジェクターなど	使用教材にある教科書の関連内容を熟読しておくこと
		各コマにおける授業予定	臨床実習－症例報告会(2)		
第15回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習での経験を通じ、就職に関する流れと手順を理解する。	大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌、PCプロジェクターなど	授業後に解けなかった問題を繰り返し復習すること
		各コマにおける授業予定	就職を考える		